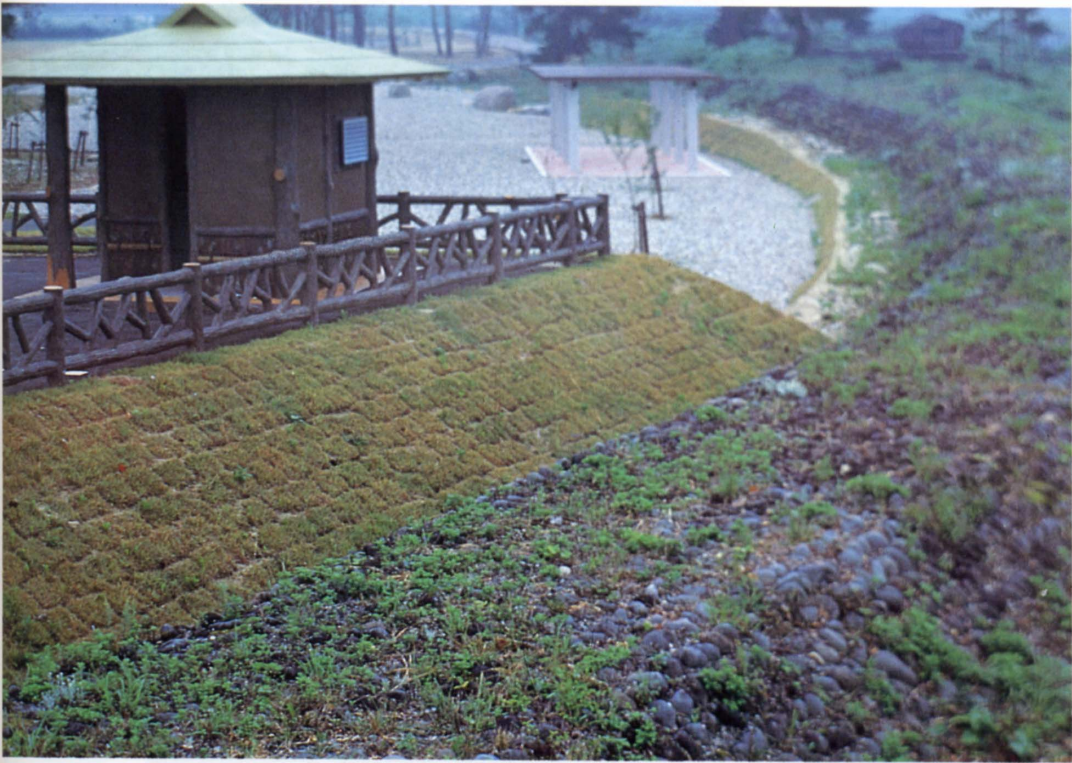




35

# 歴史堤公園



米沢市は、上杉家の城下町として栄えた町だが、昔から最上川の洪水の被害が多かったために、慶長六年に上杉家の重臣直江兼統によって石積みの堤防（石堤）が築造され、近年に至るまで洪水から人を守ってきた。

しかし近年の河川改修の進捗により、この石堤も堤防としての役割を終えたため、今後は歴史ある石堤として保存していくため、「歴史堤公園」として整備が行われた。

石堤を積極的に活用しながら公園と一体的に利用を図るため、自然樹木や現地の自然石はそのまま利用し、自然に親しめるように工夫を図った。

そのため、夏にはキャンプや水辺に親しむ家族連れ、秋には芋煮会でにぎわいを見せている。

米沢市は、上杉家の城下町として栄えた町だが、昔から最上川の洪水の被害が多かったために、慶長六年に上杉家の重臣直江兼統によって石積みの堤防（石堤）が築造され、近年に至るまで洪水から人を守ってきた。

## DATA・BOARD 35

- ①山形県米沢市大字赤崩
- ②面積：11,900㎡
- ③河川公園、パーゴラほか
- ④自然石、植栽ほか
- ⑤芋煮会など



●自然とふれあう水辺づくり